

平成28年度 愛知県臨床検査 精度管理調査報告 細胞検査部門

精度管理部員 中根昌洋（医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院）
実務担当者 橋村正人（国家公務員共済組合連合会 名城病院）
吉本尚子（公立西知多総合病院）
北島聖晃（JA愛知厚生連 海南病院）

調査概要

- 参加施設

細胞検査部門参加施設：54施設

- 対象項目

フォトサーベイ

評価対象設問：10設問

評価基準

- 判定と推定病変について正解を設定し評価を行った

評価A	正解	「基準」を満たし、 極めて優れている
評価B	許容正解	「基準」を満たしているが、 改善の余地あり
評価C	不正解	「基準」を満たしておらず、 改善が必要
評価D	不正解	「基準」から極めて大きく逸脱し、 早急な改善が必要

出題症例

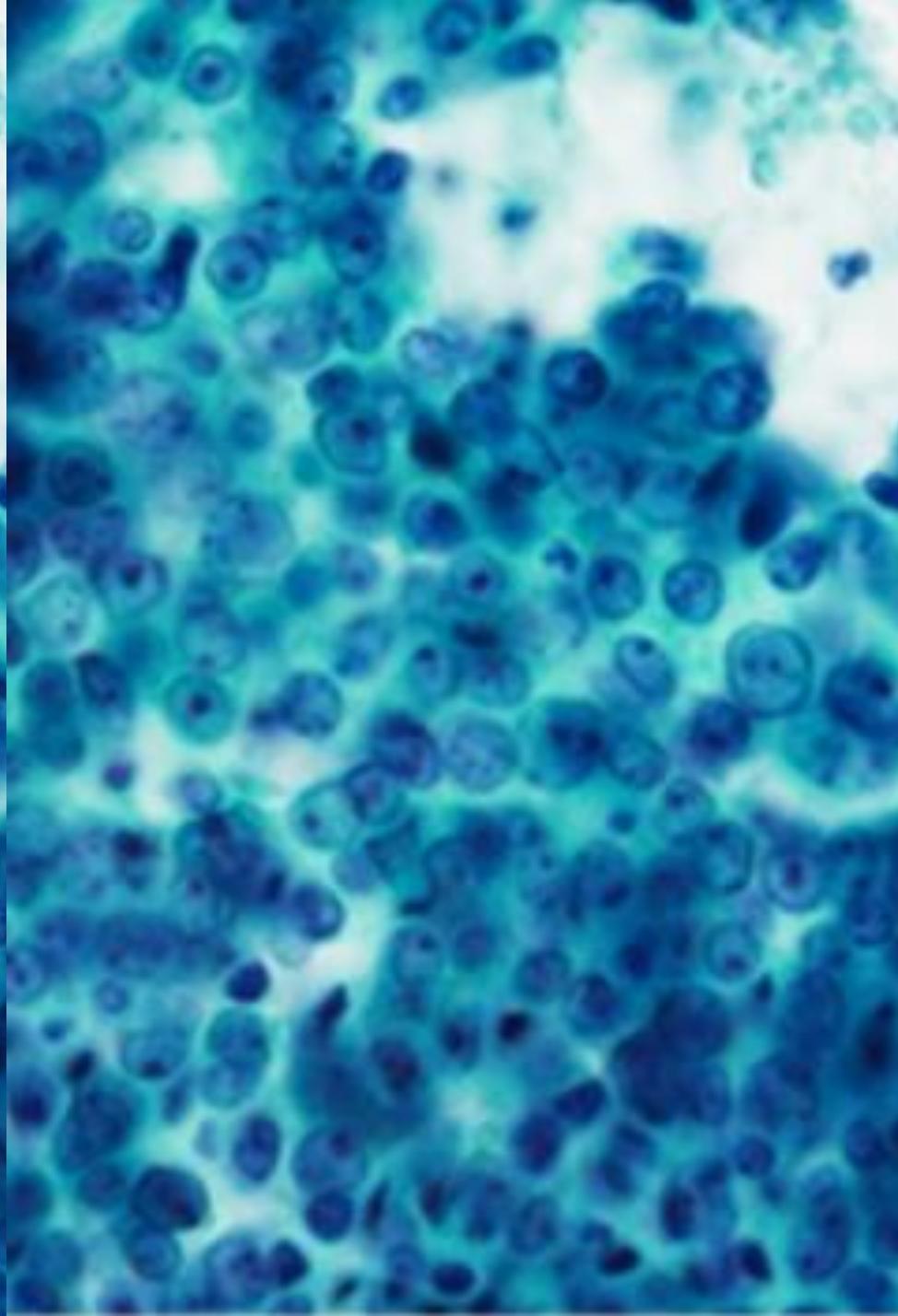
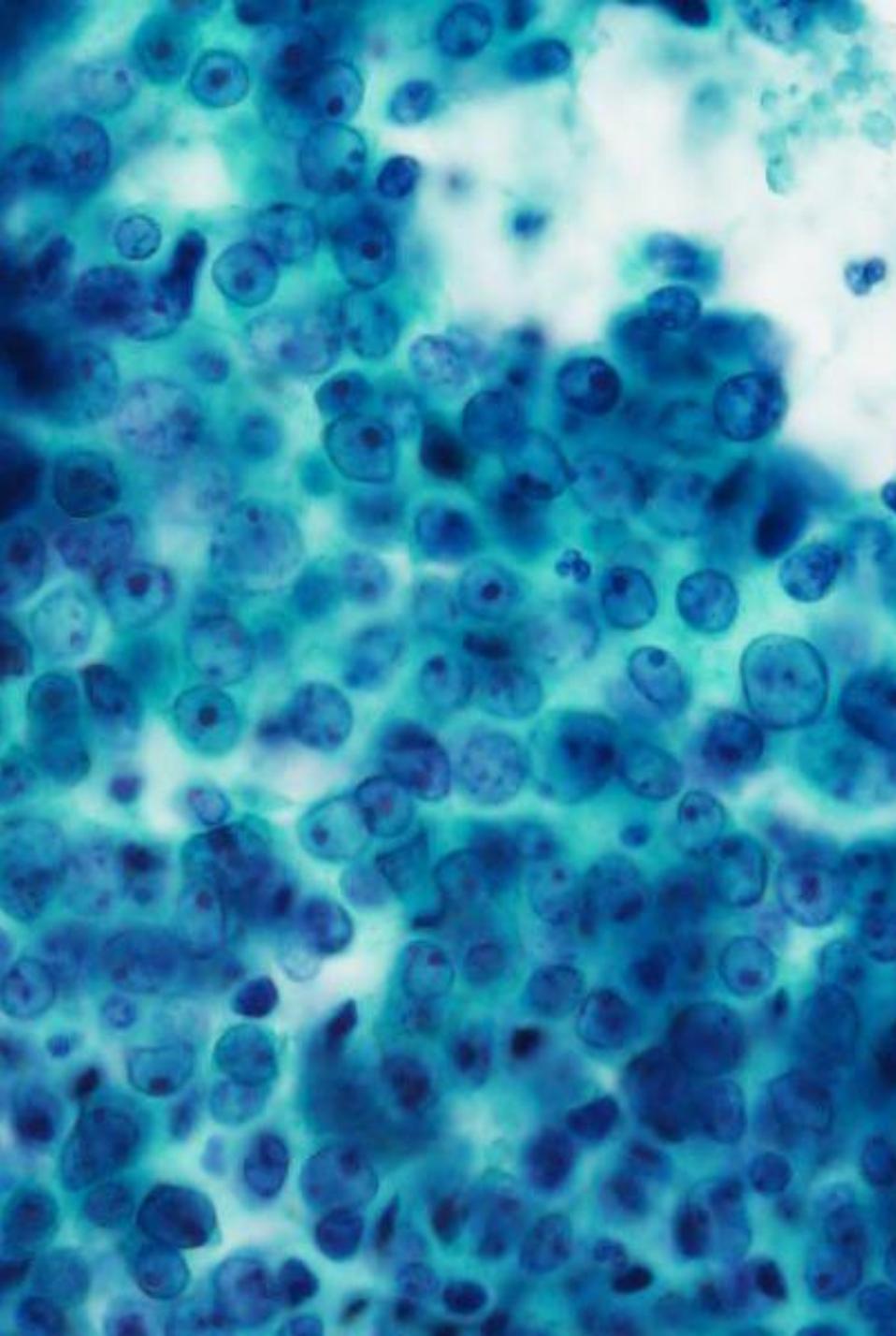
設問	症例		正解
1	30歳代、女性、子宮腔部擦過	判定	NILM
		推定病変	修復細胞
2	40歳代、女性、子宮腔部擦過	判定	NILM
		推定病変	カンジダ感染
3	50歳代、男性、気管支吸引痰	判定	陽性
		推定病変	腺癌
4	50歳代、男性、耳下腺穿刺吸引	判定	陰性
		推定病変	ワルチン腫瘍
5	70歳代、男性、胆汁	判定	陽性
		推定病変	腺癌

出題症例

設問	症例		正解
6	60歳代、男性、自然尿	判定	悪性
		推定病変	尿路上皮癌
7	60歳代、女性、乳頭分泌液	判定	悪性
		推定病変	パジェット病
8	30歳代、女性、甲状腺穿刺吸引	判定	悪性
		推定病変	髄様癌
9	50歳代、女性、胸水	判定	陰性
		推定病変	中皮細胞
10	50歳代、女性、髄液	判定	陽性
		推定病変	腺癌

正解率

設問	判定	推定病変
1	100%	100%
2	100%	100%
3	評価対象外	評価対象外
4	100%	100%
5	評価対象外	評価対象外
6	100%	100%
7	評価対象外	評価対象外
8	評価対象外	評価対象外
9	100%	100%
10	100%	100%



画質劣化の原因と対策

原因

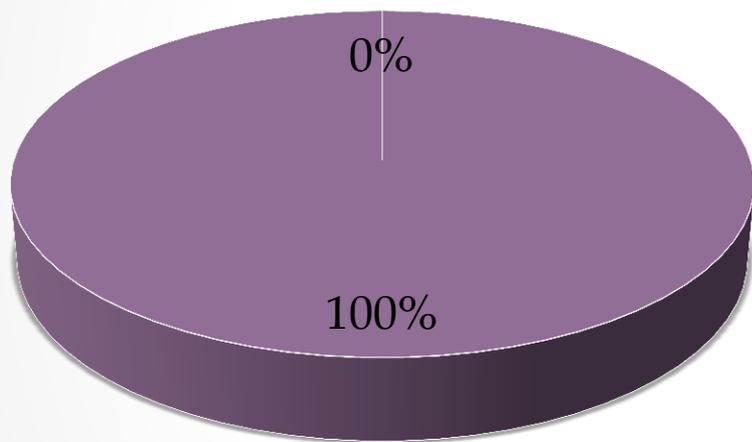
- 提出した画像のファイル形式が、異なったファイル形式となっていたが、確認時に気が付かなかった。

対策

- 多くの目で、画像ファイル形式まで確認する。

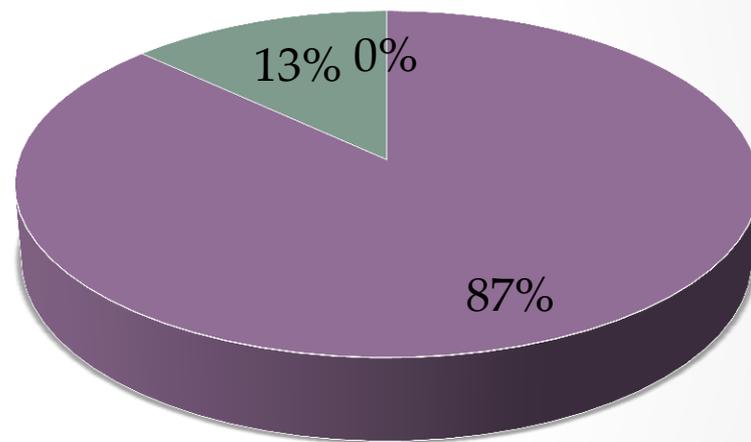
アンケート調査結果

設問の量



- 適切である
- 多い
- 少ない
- 未回答

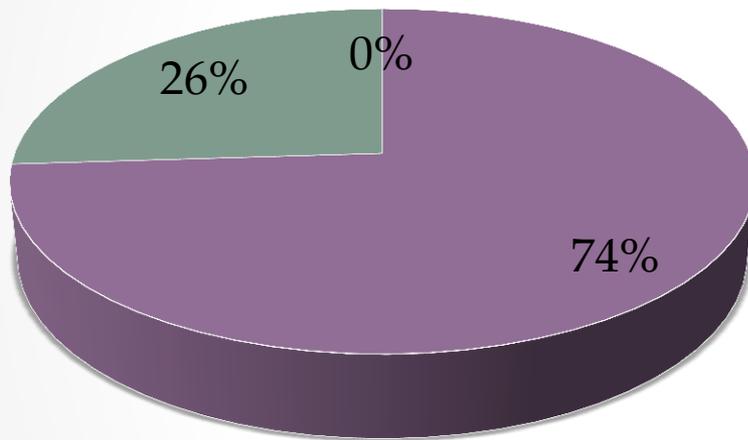
設問の難易度



- 適切である
- 難解である
- 容易である
- 未回答

アンケート調査結果

設問の内容



- 適切である
- 不適切だと感じた項目がある
- 未回答

不適切だと感じた理由

- 画像が見にくい
- 強拡大画像が必要
- 出題画像が悪い
- 耳下腺設問の判定様式に馴染まなかった

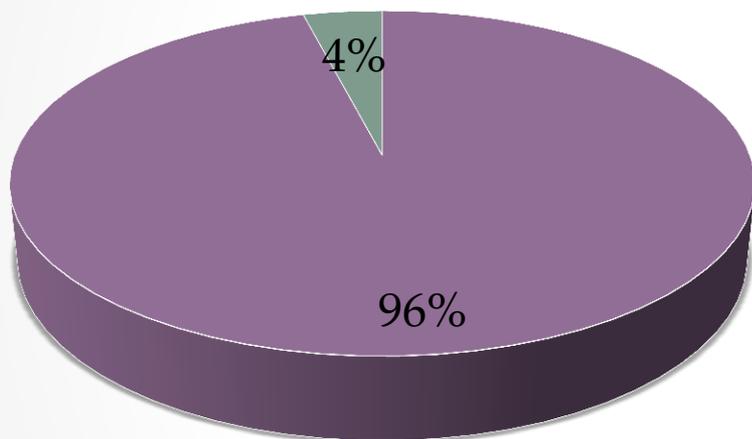
アンケート調査結果

その他ご意見ご要望があれば教えてください

- 画像が見づらい
- 集塊の細胞所見がわかる画像をお願いしたい
- 画像の解像度を上げてほしい
- PDFの解像度を上げてほしい
- 強拡大画像が必要

アンケート調査結果

システムの使用方法



- わかりやすかった
- わかりにくかった
- 未回答

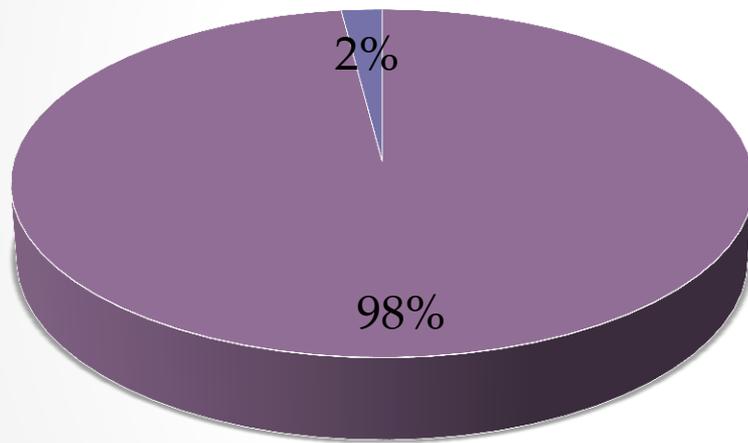
わかりにくいと感じた理由

- 「実施にあたって」を見ないと進めなかった

アンケート調査結果

システムの操作性

悪いと感じた理由

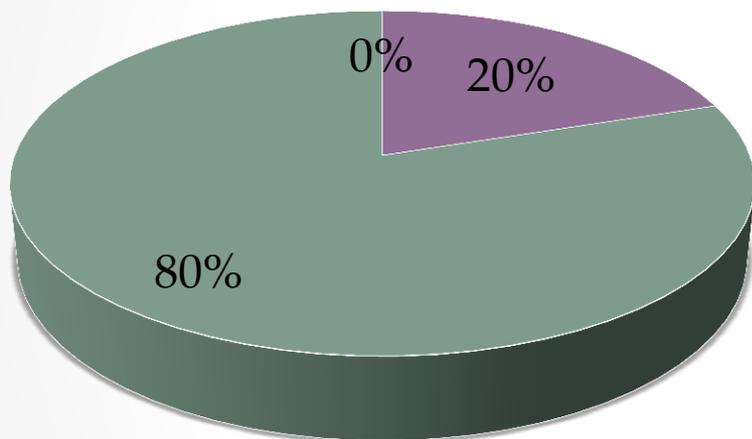


- 悪いと回答した施設は、ありませんでした

■ 良い ■ 悪い ■ 未回答

アンケート調査結果

昨年度と比較して



- 使いやすいになった
- 変わらない
- 使いにくくなった

Web回答全般ご意見

- 回答した施設は、ありませんでした

まとめ

- 参加施設数は54施設で、昨年度より1施設減少した
- 設問3.5.7.8は、画質劣化が細胞所見判読に影響をきたしたと考えられたため、評価対象外設問とした
- 評価対象外設問を除き、正解率は良好であった
- 設問の量・難易度ともに適切であった
- 精度管理システム（JAMTQC）運用にも問題なかった